

北海道がんセンター 手足症候群予防対策

化学療法に伴う手足症候群に対しては、化学療法開始時から保湿剤を基本とした予防薬剤が処方され、患者さんへはその必要性を説明しておりました。しかし、外来治療中の場合、来院のタイミングが3週間～6週間程度空くこともあり、来院時は無症状であったとしても、在宅治療中に症状が出てしまい、対応が後手になるケースを度々経験します。そこで、治療開始時から手足症候群の予防薬に加え、治療薬（ステロイド軟膏）も同時に処方し、適宜必要に応じて自宅での手足症候群に対する治療を開始する方法を検討しました。2種類の外用剤を処方しますので、患者さんの理解がとても重要になりますので、補助説明資料①、②、③を作成しました。全患者さんに対して実践するわけではありませんが、可能な限り実践していきたいと思います。本資料は、当院薬剤部の指導時の補助資料として使用します。本資料を見かけた際には、薬剤の効果や使用方法など確認頂けると幸いです。

① いつも使用するお薬

アセチロールクリーム（尿素配合保湿剤）

1 日 3～4 回

： **予防のため症状がなくても使用します。**

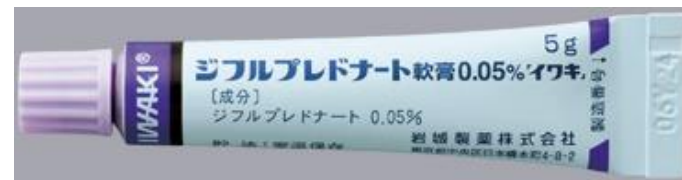


② 症状がわずかでも出たら使用するお薬

ジフルプレドナート軟膏（ステロイド外用剤）

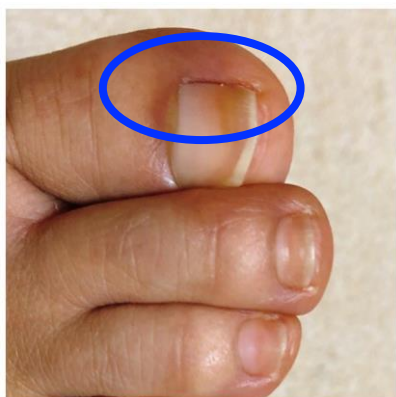
1 日 2～3 回

： **皮膚が赤くなったり、皮が剥け始めた**時から使いはじめます。



※保湿剤と一緒に使う場合は「保湿剤→ステロイド外用剤」の順番で塗ってください。

<例えばこんな症状・・・赤くなってきたり、ヒリヒリ、ピリピリした痛みなど>



① いつも使用するお薬

ヘパリン類似物質油性クリーム0.3%

1 日 3～4 回

： **予防のため症状がなくても使用します。**



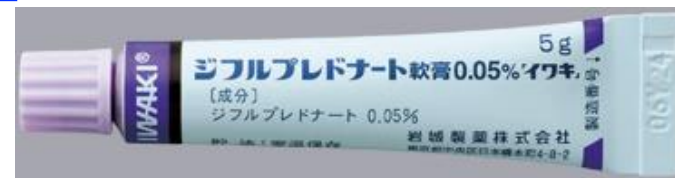
② 症状がわずかでも出たら使用するお薬

ジフルプレドナート軟膏（ステロイド外用剤）

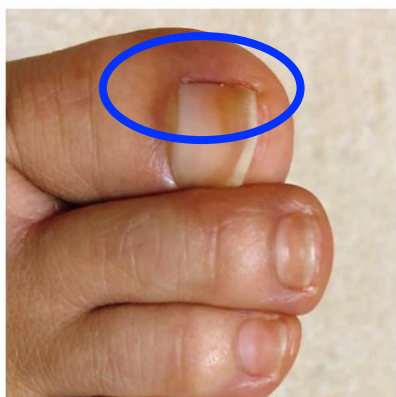
1 日 2～3 回

： **皮膚が赤くなったり、皮が剥け始めた**時から使いはじめます。

※保湿剤と一緒に使う場合は「保湿剤→ステロイド外用剤」の順番で塗ってください。

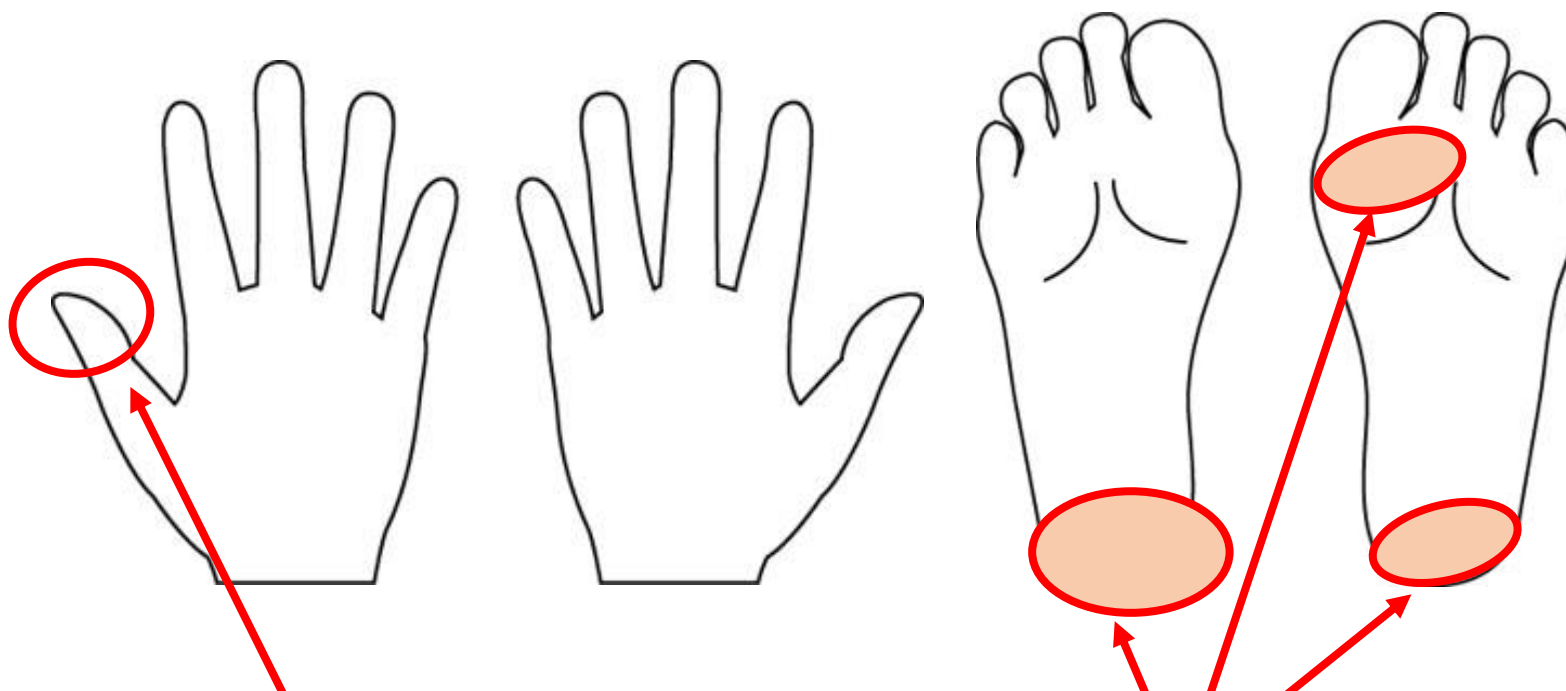


<例えばこんな症状・・・赤くなってきたり、ヒリヒリ、ピリピリした痛みなど>



手足の皮膚ケア軟膏・クリーム使用方法

ヘパリン類似物質・アセチロールクリームは、常に保湿剤として使用ください。



ジフルプレドナート軟膏開始
+スパイラルテーピング指導
2020/8/31～

ジフルプレドナート軟膏開始
2020/8/31～

手足の皮膚ケア軟膏・クリーム使用方法

ヘパリン類似物質・アセチロールクリームは、常に保湿剤として使用ください。

